

プロジェクト演習

[演習] 第3学年 後期 必修 1単位

《担当者名》福祉マネジメント学科全教員 大原 裕介（客員）

【概要】

演習（ゼミナール）では、教員が提示する学修課題にあわせて所属ゼミナールを決め、教員が示す学修課題と学生が設定する学修課題にあわせ、所属ゼミナールごとに年間の学修計画を設定する。それぞれの学修計画にそって、担当教員の指導のもと「資料収集」「調査分析」「実施計画の検討」を行い課題を深める。これらのことを通して、4学年の授業科目「プロジェクト演習」「プロジェクト研究」で行う学修及び活動に繋げる。

なお、各教員の学修課題の内容については3学年前期に提示する。学生への希望調査を行い所属ゼミナールを決定する。

【学修目標】

学生が各自の問題意識・関心のあるテーマについて、これまで学んだ知識や技術を生かし、地域にある問題の解決やニーズの充足に向けての課題の明確化、解決方法の具体化を行う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	学修内容の紹介、授業の進め方などについて	演習を担当する教員、大原
2	福祉に関する今日的な課題についての検討（1）	福祉に関する今日的な課題について（教員と学生との検討）	演習を担当する教員、大原
3	福祉に関する今日的な課題についての検討（2）	福祉に関する今日的な課題について（教員と学生の検討）	演習を担当する教員、大原
4	課題の設定・検討（1）	学生自らが関心を持つ学修課題について（学生の報告、教員及び学生との検討）	演習を担当する教員、大原
5	課題の設定・検討（2）	学生自らが設定する学修課題 について（学修の進捗状況の報告と検討）	演習を担当する教員、大原
6	課題の設定・検討（3）	学生自らが設定する学修課題について（学修の進捗状況の報告と検討の深化）	演習を担当する教員、大原
7	課題の設定（1）	学修課題に関する資料収集について	演習を担当する教員、大原
8	課題の設定と自己のキャリアデザイン	設定した学修課題と将来の進路について	演習を担当する教員、大原
9	課題の設定（2）	学修課題に関する資料収集状況・課題に対する検討の進捗状況について	演習を担当する教員、大原
10	課題の設定（3）	課題の「目標」「課題の内容（課題の意識、仮説など）」について	演習を担当する教員、大原
11	課題の設定（4）	課題の「目標」「課題の内容（課題の意識、仮説など）」の報告について	演習を担当する教員、大原
12	課題の設定及び課題の解決方法の検討	課題の「解決方法」の検討について	演習を担当する教員、大原
13	課題の設定及び課題の解決方法の検討	課題の「解決方法」の検討・深化について	演習を担当する教員、大原
14	課題の深化	課題の明確化と解決方法の具体化について	演習を担当する教員、大原
15	まとめ	「プロジェクト演習」「プロジェクト研究」の進め方とその学習に向けての準備（課題）について	演習を担当する教員、大原

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

プレゼンテーションの内容40%、 学修課題への取り組み状況60%により、総合的に評価する。

【教科書】

担当教員が必要に応じて指示する。

【参考書】

担当教員が必要に応じて指示する。

【学修の準備】

この授業では、これまでの学習成果を統合し、そこから生じた問題意識を明確化した上で出席すること。

予習復習：毎回の授業時に各教員から提示された内容に取り組むこと（1時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3： 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP4： 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

DP5： 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している